

# 參考資料

# 資料1 第七次中井町総合計画策定経緯

年度	月日	内容
2024年度 (令和6年度)	8月1～13日	幸福度に関する町民向けのテストアンケートの実施
	9月30日	第1回中井町総合計画審議会 (議題)第7次中井町総合計画策定方針、テストアンケートの実施結果、本アンケートについて
	10月11～28日	「なかいの幸福度」に関するアンケート調査(本アンケート)の実施
	10月20日	美・緑なかいフェスティバルにおける町民等を対象にしたインタビューの実施
	11月5日	第1回中井町総合計画策定委員会 (議題)町民意見を踏まえた構想策定に向けた分析方法案について
	12月1日	中井町の10年後を考える住民参加型ワークショップの実施
	12月18日	第2回中井町総合計画策定委員会(書面開催) (議題)第七次中井町総合計画体系、基本構想骨子案について
	12月19日	第1回中井町総合計画策定幹事会及び職員研修
	12月24日	第2回中井町総合計画審議会 (議題)本アンケート結果、基本構想における方向性及び将来像、基本構想骨子案について
	1月23～24日	総合計画策定に係る各課ヒアリング
	2月17日	第3回中井町総合計画策定委員会 (議題)第七次中井町総合計画基本構想案、前期基本計画骨子案について
2月25日	第3回中井町総合計画審議会 (議題)地区別アンケート分析結果、基本構想案、前期基本計画骨子案について	
2025年度 (令和7年度)	7月1日	第4回中井町総合計画策定委員会 (議題)人口推計、前期基本計画体系案について
	7月25日	第4回中井町総合計画審議会 (議題)将来像、人口推計の考え方、概要版の方向性について
	8月1～22日	「なかいの幸福度」に関するアンケート調査の実施
	10月2日	第5回中井町総合計画審議会 (議題)総合計画本体案、概要版案、パブリックコメントの実施について
	10月3日	第5回中井町総合計画策定委員会 (議題)第七次中井町総合計画基本構想及び前期基本計画案について
	10月5、7、10日	第七次中井町総合計画についての地域懇談会
	10月10～29日	パブリックコメントの実施
	11月20日	第6回中井町総合計画審議会 (議題)パブリックコメントの結果、総合計画の答申案について
12月5日	中井町議会令和7年第4回定例会 第七次中井町総合計画前期基本計画議会議決	

## 資料2 中井町総合計画審議会条例

### 中井町総合計画審議会条例

昭和41年12月23日条例第17号

改正 昭和44年7月24日条例第19号  
昭和49年3月20日条例第4号  
平成6年3月23日条例第1号  
平成8年6月19日条例第9号  
平成11年3月29日条例第3号

平成16年9月17日条例第11号  
平成19年12月18日条例第16号  
平成27年3月4日条例第3号  
令和2年3月16日条例第3号

#### (趣旨)

第1条 この条例は、地方自治法(昭和22年法律第67号)第138条の4第3項及び第202条の3第1項の規定に基づき、中井町総合計画審議会の設置、担任事項その他について必要な事項を定めるものとする。

#### (設置及び担任事項)

第2条 町長の諮問に応じて、中井町総合計画の策定、その他その実施に関し、必要な調査及び審議を行なうため中井町総合計画審議会(以下「審議会」という。)を置く。

#### (組織)

第3条 審議会は、委員16人で組織する。

2 委員は、次の各号に掲げる者のうちから町長が任命する。

- (1) 町教育委員会の委員 1人
- (2) 町農業委員会の委員 1人
- (3) 町の区域内の公共的団体の役員及び職員 6人
- (4) 学識経験を有する者 5人
- (5) 公募による町民 3人

#### (委員の任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任することができる。

2 補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

#### (会長)

第5条 審議会に会長を置き、委員の互選によつて定める。

2 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。

#### (会議)

第6条 審議会の会議は、会長が招集する。

2 審議会の会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

3 審議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

#### (庶務)

第7条 審議会の庶務は、企画課において処理する。

#### (委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、審議会に関し必要な事項は町長が定める。

#### 附 則

1 この条例は、公布の日から施行する。

2 中井町新町建設審議会条例(昭和37年中井町条例第11号)は、廃止する。

#### 附 則(昭和44年条例第19号)

この条例は、昭和44年8月1日から施行する。

#### 附 則(昭和49年条例第4号)

この条例は、昭和49年4月1日から施行する。

#### 附 則(平成6年条例第1号)抄

##### (施行期日)

1 この条例は、平成6年4月1日から施行する。

#### 附 則(平成8年条例第9号)

この条例は、公布の日から施行する。

#### 附 則(平成11年条例第3号)

この条例は、平成11年4月1日から施行する。

#### 附 則(平成16年条例第11号)

この条例は、公布の日から施行する。

#### 附 則(平成19年条例第16号)抄

##### (施行期日)

1 この条例は、平成20年4月1日から施行する。

#### 附 則(平成27年条例第3号)

この条例は、平成27年4月1日から施行する。

#### 附 則(令和2年条例第3号)

この条例は、令和2年4月1日から施行する。

## 資料3 第七次中井町総合計画の諮問及び答申

6中企 49-1号  
令和6年9月30日

中井町総合計画審議会  
会長 牧瀬 稔 様

中井町長 戸村 裕司  
(公印省略)

第七次中井町総合計画基本構想及び前期基本計画について（諮問）

第七次中井町総合計画基本構想及び前期基本計画（案）の策定について、中井町総合計画審議会条例第2条の規定に基づき、貴審議会の意見を求めます。

令和7年11月20日

中井町長 戸村 裕司 様

中井町総合計画審議会 会長 牧瀬 稔

第七次中井町総合計画基本構想及び前期基本計画（素案）について（答申）

令和6年9月30日付けで、諮問のあった第七次中井町総合計画基本構想及び前期基本計画（案）について、本審議会では慎重に審議を重ねた結果、適正かつ妥当であると判断します。

なお、留意すべき事項として下記のとおり次のとおり意見を付して答申します。

記

- 1 町民アンケート（意識調査）の実施方法と幸せ指標による施策の運用について
  - ・年度ごとに実施する町民アンケート（意識調査）の結果をもとに、町民の幸せ指標を図ることによって政策形成を行うにあたり、指標の精度を高めるための回答数増加策の手段を講じること。
  - ・全数調査ではなく標本調査である点を前提に、統計的な解釈には留意すること。
- 2 住民理解と住民参加の促進について
  - ・KPI・進捗・評価結果の公表方針を明確化し、町民が理解・関与しやすい形で公開すること。
  - ・将来の中井町を背負っていく若年世代へ理解を深めてもらう機会の創出を行うこと。

以上

## 資料4 中井町総合計画審議会委員名簿

区分	組織・役職	氏名	備考
町教育委員会の委員	中井町教育委員会教育長職務代理	渡邊 周治	
町農業委員会の委員	中井町農業委員会	尾上 輝美	
町の区域内の公共的団体の 役員及び職員	中井町自治会連合会	相原 隆	第1～3回委員
		成川 保美	第4～6回委員
	中井町商工振興会	曾我 和久	
	中井町民生委員・児童委員協議会	石鍋 勝夫	
	中井町社会福祉協議会	山口 秀俊	
	中井町男女共同参画推進懇話会	中西 和美	
	中井の環境を良くする会	飯田 達雄	
学識経験を有する者	関東学院大学法学部地域創生学科教授	牧瀬 稔	会長
	中井町都市計画審議会(東海大学建築都市学部土木工学科 教授)	梶田 佳孝	
	さがみ信用金庫渋沢支店長	吉澤 典高	第1～2回委員
		杉川 裕也	第3～6回委員
	タウンニュース 平塚・大磯・二宮・中井編集室 副編集長	小澤 香苗	
	中井町副町長	鶴井 淳	副会長
公募による町民		竹内 哲也	
		山崎 貴子	
		澁谷 彩	

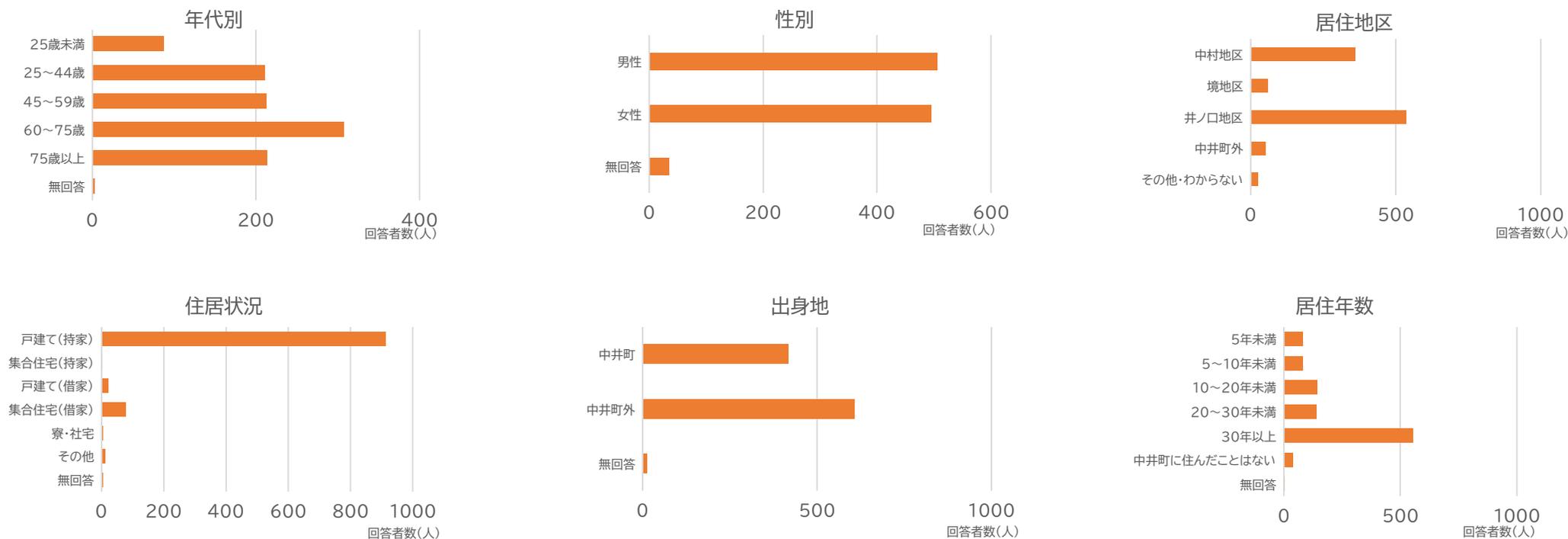
# 資料5 「なかいの幸福度」に関するアンケート調査結果(2024年10月)

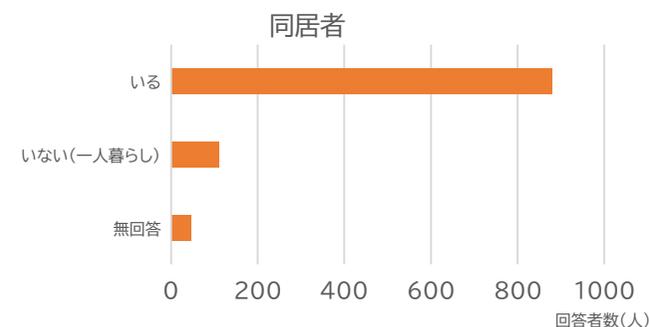
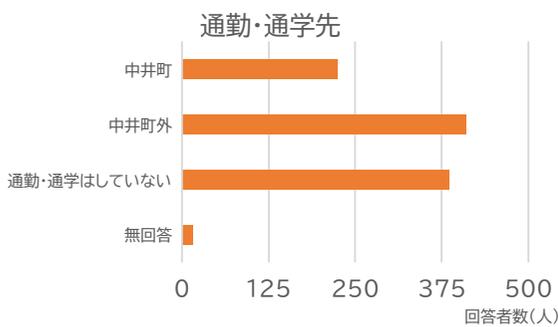
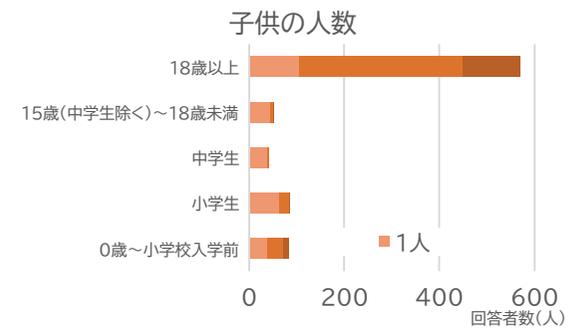
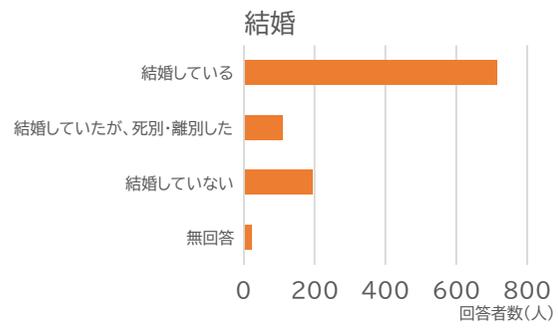
## (1)実施概要

- 実施期間 : 2024年10月11日(月)~28日(月)  
対象者 : 中井町に在住または中井町で勤務する人を中心に町と関わりのある人  
調査方法 : Web方式及び紙媒体による調査の併用  
配布数 : 3,000名(無作為抽出した町民を対象に紙媒体の調査票を配布)  
その他、中井町公式LINE等のSNSを活用した周知を実施  
回収数 : 1,036件(うち、Web回答370件(うち、英語回答27件)、紙媒体による回答666件)

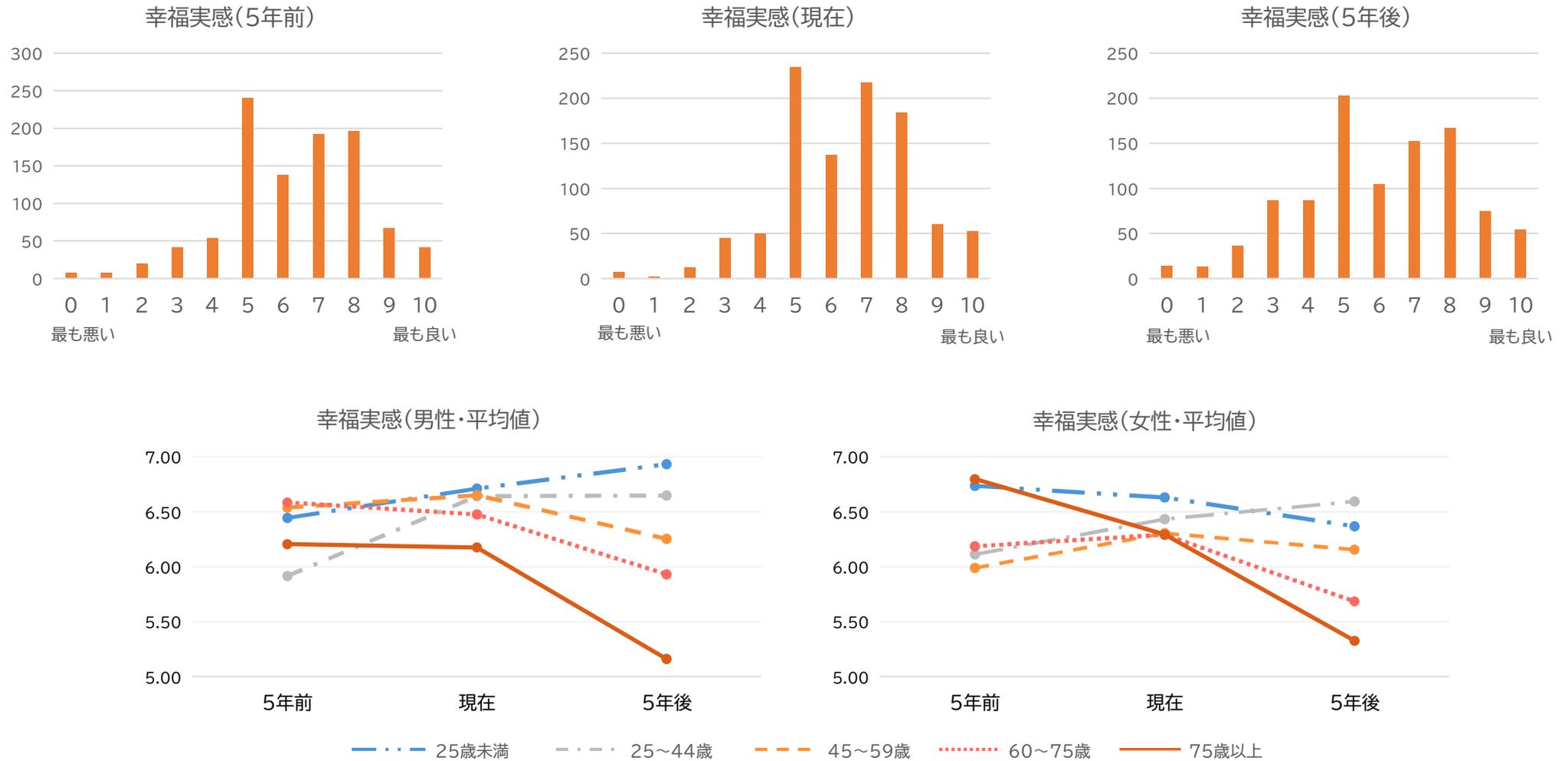
## (2)調査結果

### 【回答者の属性】



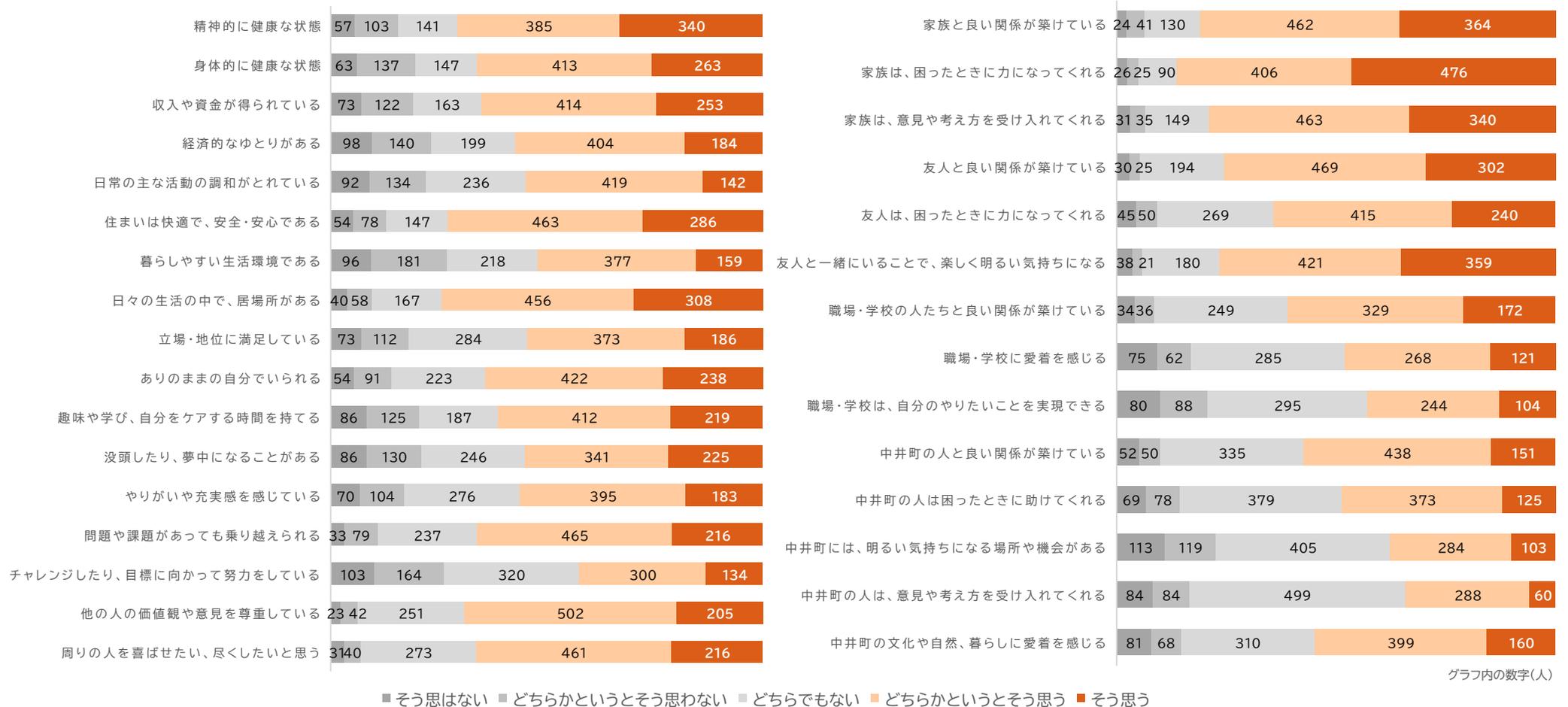


## 【町民の幸福実感】



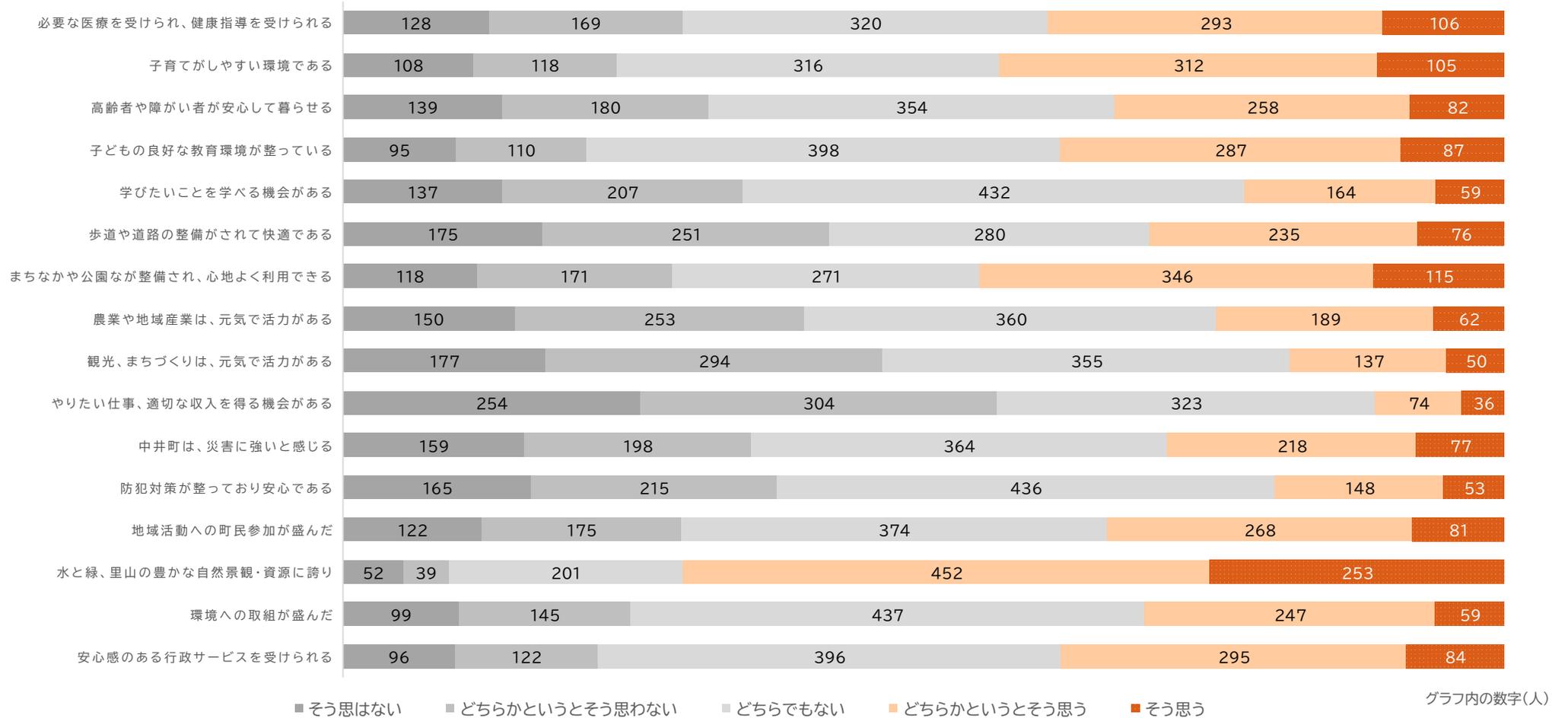
幸福実感として、生活の状態を0～10の11段階で測定した結果、現在の幸福実感的平均値は6.4となっており、5年後の将来に対する幸福実感平均6.0と現在に比べて下がる傾向が確認されています。また、年代別に見ると男女ともに生産年齢・高齢層になるほど、将来の幸福実感が低下する傾向にあることがわかります。

## 【町民のWell-Being実感指標】



個人の暮らしや生活に関する主観的な考えを把握する観点から設定した「Well-Being実感指標」に対する回答状況は上記のとおりです。家族や友人とのつながりに対する評価が高く、人との関係性について良好な状態にあることが分かります。他方で、「暮らしやすい生活環境にあるか」や「チャレンジしたり、目標に向かって努力している」、「職場や学校はやりたいことを実現できる」、「中井町は、明るい気持ちになる場所や機会がある」については、そう思わないとの回答の比率が高くなっています。

## 【町民の政策領域実感指標】



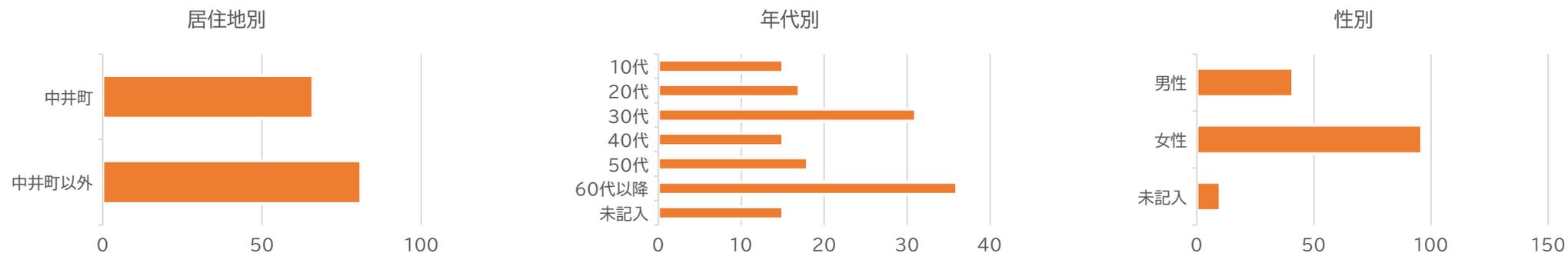
中井町が行う行政による政策領域に対する考えを把握する観点から設定した「政策領域実感指標」に対する回答状況は上記のとおりです。里山を有する中井町の特徴から「水と緑、里山の豊かな自然計画・資源に誇りがある」という回答が多い結果となった一方で、「やりたい仕事、適切な収入を得る機会がある」や「観光、まちづくりは、元気で活力がある」が比較的低い評価となっています。

## 資料6 美・緑なかいフェスティバル町民インタビュー(2024年10月)

### (1)実施概要

- 実施日時 : 2024年10月20日(日)午前9時半～午後4時頃  
実施場所 : 中井中央公園  
対象者 : 中井町民、町外在住者  
回答者数 : 147名  
インタビュー内容: 関東学院大学学生とともに、対象者に対して「日々の暮らしで幸せを感じること」、「改善されたら嬉しいこと」、それらに紐づく実感指標についてのインタビューを実施。

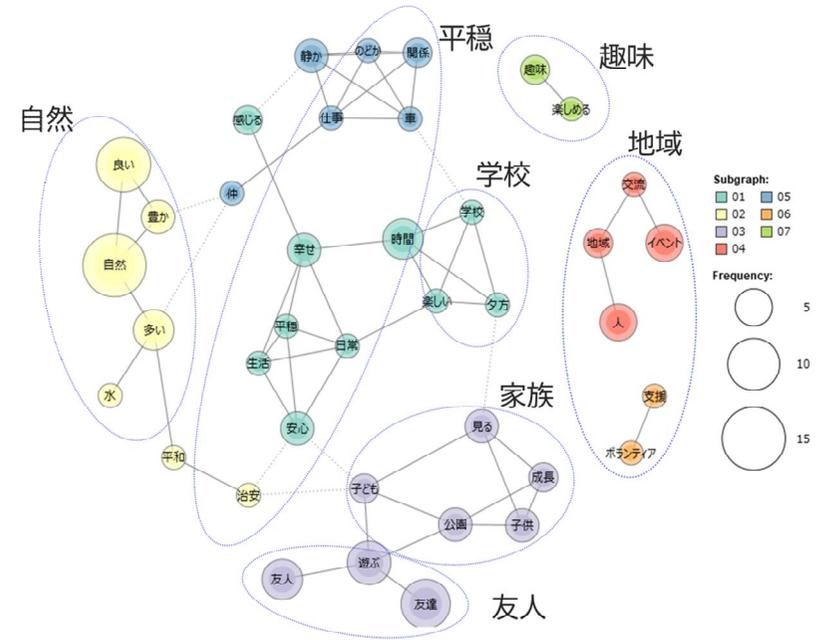
### (2)調査結果



※性別および年代に関する収集データはインタビュー者の推測値

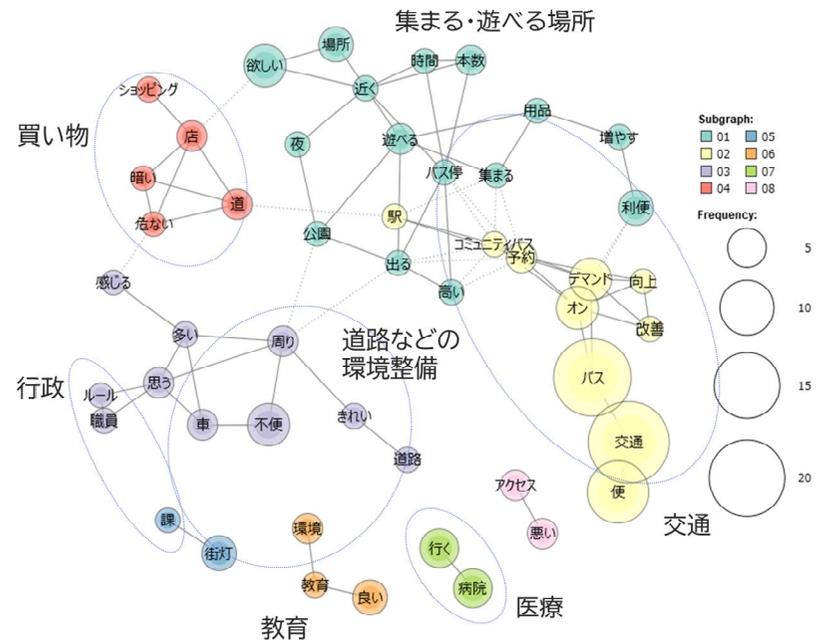
## 【暮らしの幸福に関する意見】

- 暮らしにおける幸福から想起する事柄として、自然(27.94%)、友人(27.94%)、地域(20.59%)、平穏(14.71%)、家族(10.29%)に関するワードが多く挙げられました。
- 世代別の回答傾向として、未成年層は「自然・友人」、若年層は「地域・家族」、現役世代は「平穏・友人・地域」、高齢者層は「自然・家族・平穏・地域」に関連するワードを挙げる傾向にあります。



## 【中井町の改善点に関する意見】

- 中井町の改善点及び居留意欲を高める事柄として、交通(51.47%)、集まる・遊べる場所(20.59%)、道路などの環境整備(22.06%)、買い物(14.71%)に関するワードが多く挙げられました。
- 世代問わず交通への意識が高く、特に若年～現役世代は「教育・買い物」に意識が強い傾向にあります。また、高齢者層は「集まる/遊べる場所」への改善要望が高い傾向にあります。



# 資料7 中井町の10年後を考える住民参加型ワークショップ(2024年12月)

## (1)実施概要

- 実施日時 : 2024年10月20日(日)午後1時～午後4時頃  
 実施場所 : 中井町役場  
 形式 : ワールドカフェ方式  
 参加者 : 町内関係者(12名)、関東学院大学学生(12名)、中井町役場企画課職員

## (2)プログラム

時間	実施内容	
13:00～13:10	導入	趣旨説明とチェックイン(自己紹介/中井町の好きなところ) (10分)
13:10～14:20	まちの課題を学ぶ	中井町挨拶・総合計画の策定に向けた考え方 (10分)
		アンケート結果の共有 (20分)
		因果分析結果に対する納得感についてディスカッション (40分)
～14:30		休憩 (10分)
14:30～15:15	住み続けたい幸せな 中井町を考える	ワーク内容の説明 (10分)
		10年後のわたしの幸せと、町内のみんなの幸せを考える (10分)
		10年後のわたしの幸せとみんなの幸せの共通要素を探る (10分)
		要素を実現するために取り組むべきことを ① 行政 ② 中間組織 ③ 個人 の3つの観点から考える (15分)
～15:25		休憩(10分)
15:25～16:00	共有とまとめ	グループワークの内容を全体へ共有(20分)
		ほかグループの発表を受けた振り返り(10分)
		閉会

## (3)実施結果

### 【町民が感じるまちの課題と行政への提言】

#### 1. 移住者の受け入れ

- ・ 経済合理性でなく「田舎らしさ」をアピールしつつ、移住者の居住環境の支援(民間空き家の支援、町営住宅の貸出)が必要ではないか。
- ・ 空き家や空き農地を活用し、中井町の良いところである「自然」を愛するひとへ提供・貸し出しするのが一案あるのではないか。

#### 2. 交通

- ・ 道が暗いため子供が安心して出歩けず、さらには親としても送迎の負担がかかっている。
- ・ 高齢者として交通手段の確保も課題であり、支援の仕方や町民ドライバーなど新たな施策を考えてほしい。

#### 3. 高齢者の独居

- ・ 孤独を防ぐためのコミュニティの場づくりと、その場に行くための交通の改善。
- ・ 少子高齢化の解決策としてベンチャー企業等を呼び込み、先進モデル地区としてのブランディングを図れないか。

#### 4. 子育て支援

- ・ 児童館をつくり、子育て支援が手厚いことを対外的にアピールしながら子育て世帯の居場所を作してほしい。
- ・ 自治会や子ども会を復活させ、学びや娯楽の機会をすべての世帯に平等に提供してほしい。

#### 5. そのほか

- ・ NPOなど有志で取り組んでいる人同士を繋げ、活動を発信する場がほしい。取り組みの場所に行政も顔を出してほしい。

### 【「地域で取り組むべきこと」として挙げた意見(一部抜粋)】

- ・ 子供の場づくりについては、行政だけでなく地域の取り組み(コミュニティボランティアなど)が必要である。
- ・ 子供が安心して出歩けるようにPTAなどによる地域住民を起点とした安全の強化も考えられる。
- ・ 健康についても地域でのつながりが有効と考える。近隣住民のつながりによる健康増進施策ができないか。
- ・ 住民間のコミュニケーションの促進に向け、自治会の存続や町民主体のワークショップ、イベントが有効。
- ・ 新たなひとを受け入れるために「否定しない」「受け入れる気持ち」など、寛容的な風土づくりが必要。

### 【「個人で取り組むべきこと」として挙げた意見(一部抜粋)】

- ・ 個人レベルでも人口減少への意識を持つことや、地域のつながりをつくることが重要なのではないか。
- ・ 個人としても中井町の良さや名産品をSNS等で発信することがまちのブランディングに寄与できないか。
- ・ オンデマンドバスなど、既にある施策に対し実際に利用して応援する。
- ・ 隣人同士で声掛け等をしながら、自治会や子供会に加入する。
- ・ 孤独の防止や地域での健康増進のために、地域内であいさつや声掛けをする。

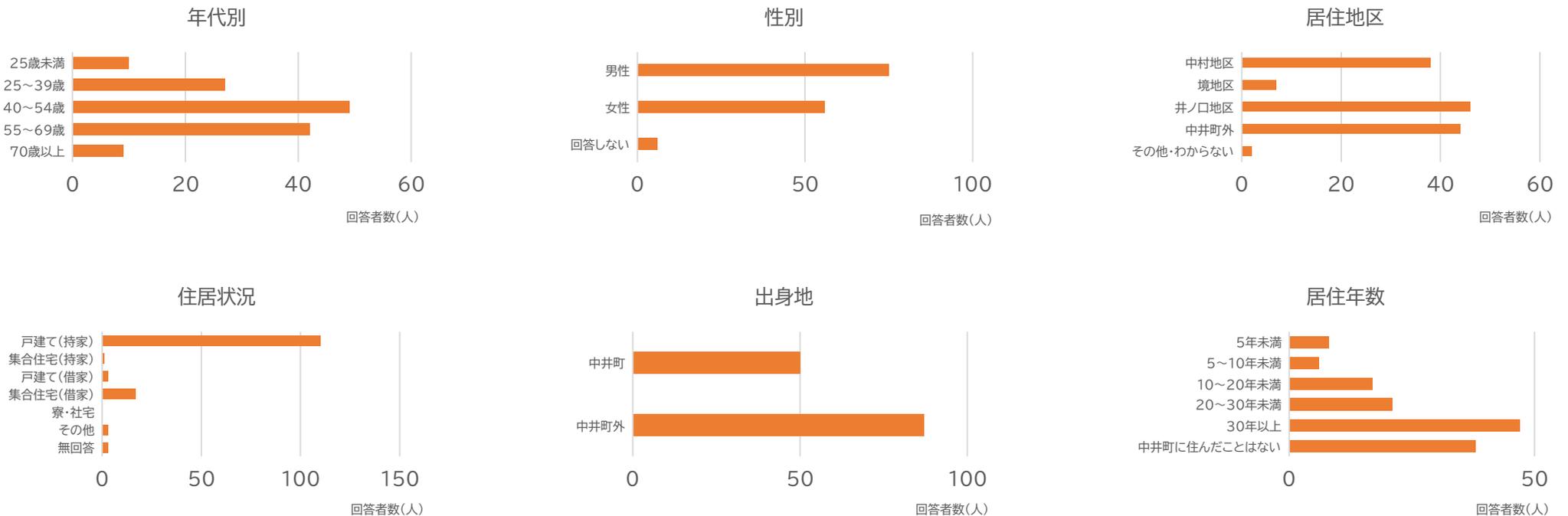
# 資料8 「なかいの幸福度」に関するアンケート調査結果(2025年8月)

## (1)実施概要

- 実施期間 : 2025年8月1日(金)~22日(金)
- 対象者 : 中井町に在住または中井町で勤務する人を中心に町と関わりのある人
- 調査方法 : Web方式
- 配布方法 : 自治会加入世帯への依頼チラシの全戸配布、町内公共施設での配架、町HP・SNSでの発信
- 回収数 : 137件

## (2)調査結果

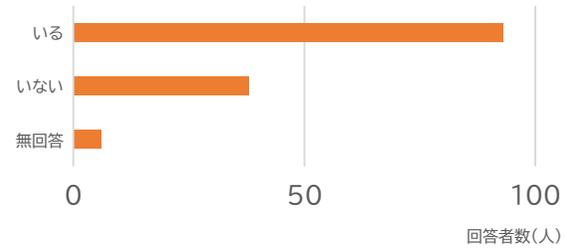
### 【回答者の属性】



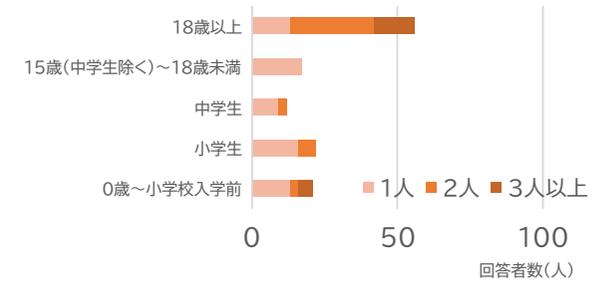
結婚



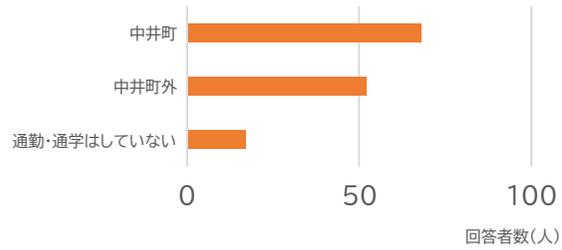
子供の有無



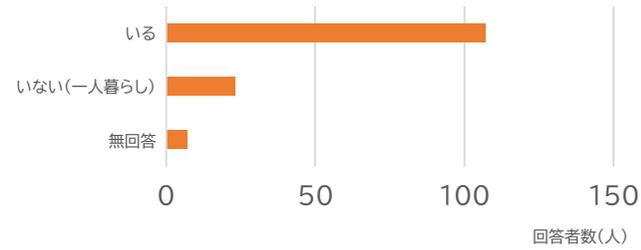
子供の人数



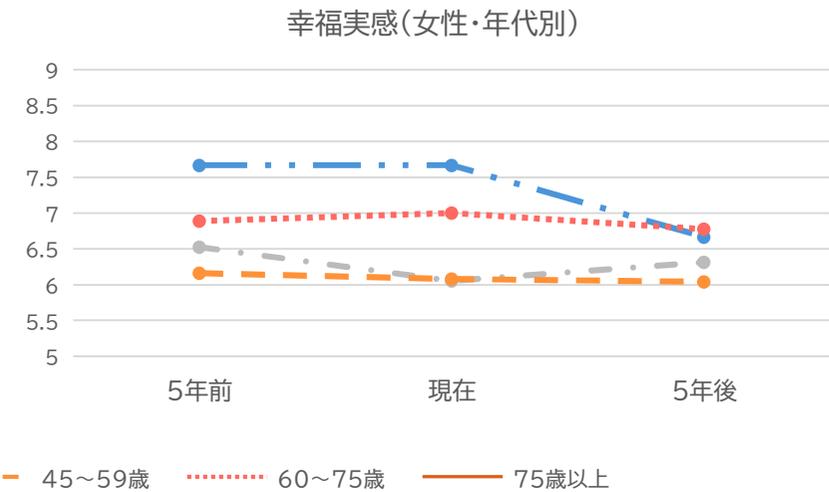
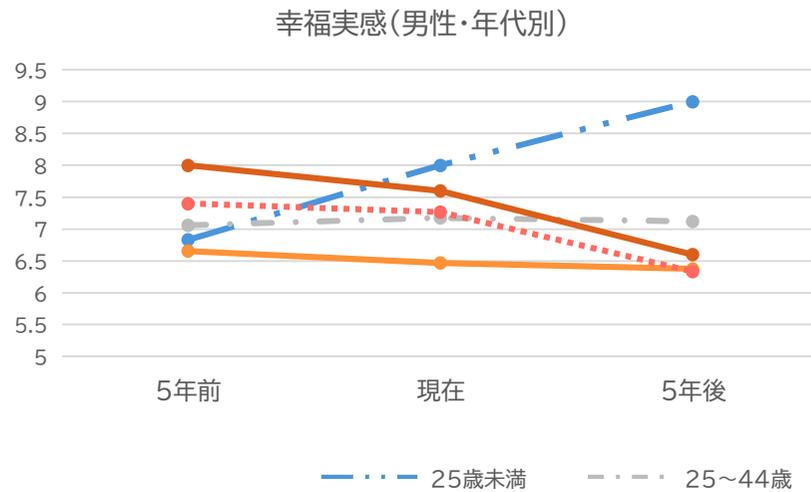
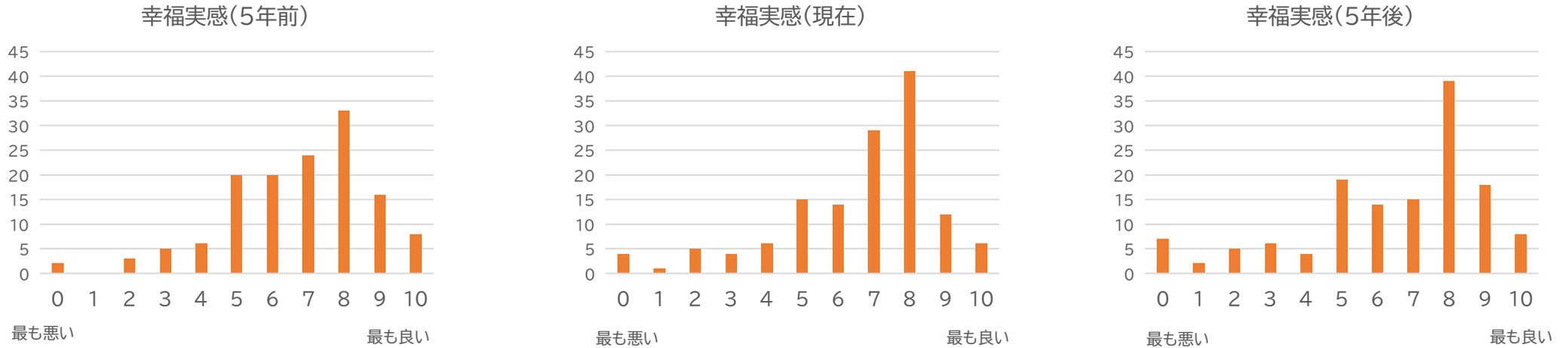
通勤通学先



同居者

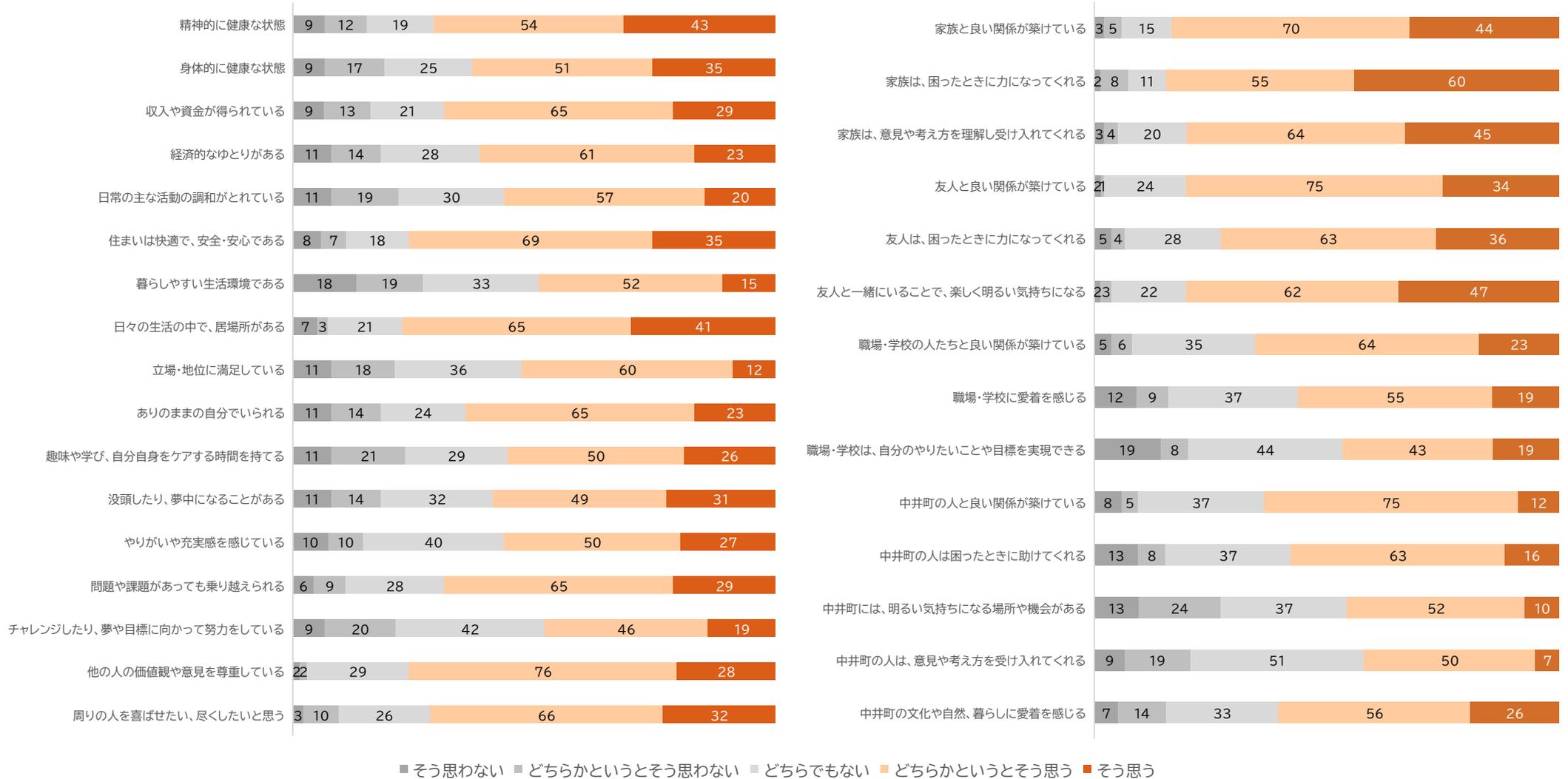


## 【町民の幸福実感】



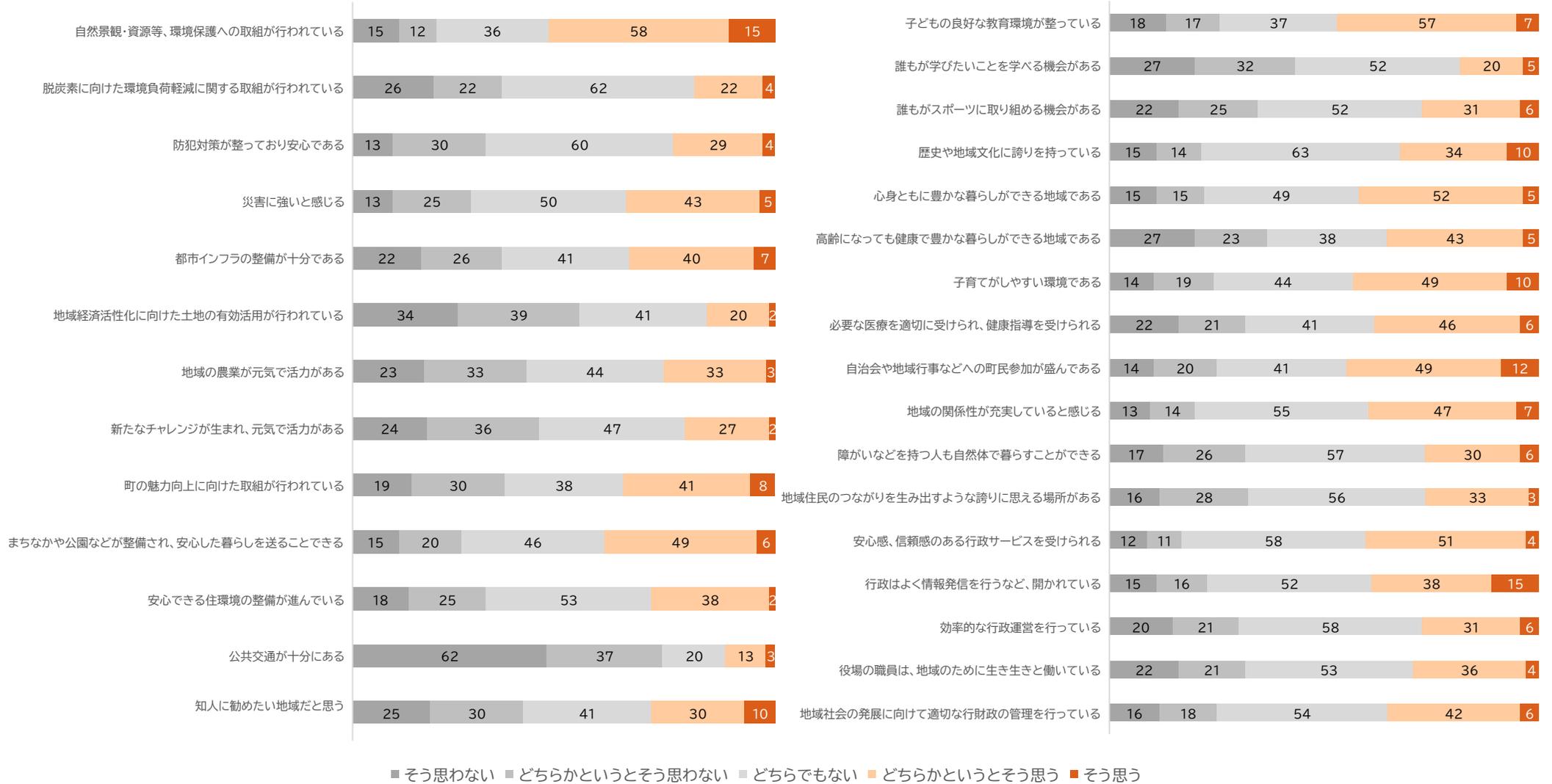
幸福実感として、生活の状態を0～10の11段階で測定した結果、現在の幸福実感の平均値は6.61となっており、5年後の将来に対する幸福実感  
は平均6.45と現在に比べて下がる傾向が確認されています。また、年代別に見ると男女ともに生産年齢・高齢層になるほど、将来の幸福実感が  
低下する傾向にあることが分かります。

## 【町民のWell-Being実感指標】



個人の暮らしや生活に関する主観的な考えを把握する観点から設定した「Well-Being実感指標」に対する回答状況は上記のとおりです。家族や友人とのつながりに対する評価が高く、人との関係性について良好な状態にあることが分かります。他方で、「暮らしやすい生活環境にあるか」や「趣味や学び、自分自身をケアする時間を持つ」、「職場や学校はやりたいことを実現できる」、「中井町は、明るい気持ちになる場所や機会がある」については、そう思わないとの回答の比率が高くなっています。

## 【町民の政策領域実感指標】



中井町が行う行政による政策領域に対する考えを把握する観点から設定した「政策領域実感指標」に対する回答状況は上記のとおりです。里山を有する中井町の特徴から「自然景観・資源等、環境保護への取り組みが行われている」という回答が多い結果となった一方で、「地域経済活性化に向けた土地の有効利用が行われている」や「公共交通が十分にある」が比較的低い評価となっています。



町民が幸福を実現できる  
まちづくりを目指します

## 「第七次中井町総合計画」

2026 - 2035

発行 中井町企画課

住所 〒259-0197 神奈川県足柄上郡中井町比奈窪56番地

T E L 0465-81-1111(代表)

発行年度 2026年1月

編集 日本電気株式会社